

2025

10年以内に会社の中核を担う

女性シニアリーダー 育成プログラム

Women Leaders Program



早稲田大学ビジネススクール
(大学院経営管理研究科)

世界は大きな転機を迎えつつあります。大きな技術革新と世界的な競争の時代です。そうした中にある現代の企業経営に求められるのは、従来の発想にとらわれずに新しい可能性に挑戦する大胆さと、グローバル化する世界における巨大なリスクに備える慎重さ、そして多様化する価値観に耐える柔軟さではないでしょうか？その意味で、企業には社内外に説明できるガバナンスと、年齢、性別、人種、宗教、趣味嗜好などのダイバーシティを尊重することの2つが特に求められています。

私達ビジネス・ファイナンス研究センター(WBF)は、日本そしてアジアをリードするビジネススクールである早稲田大学ビジネススクール(WBS)と一体になって、そうした不安定化する世界における企業を導く実践知の創造と供給の拠点となるべく、幅広い教育研修プログラムと研究プロジェクトを早稲田大学の内外に提供してきました。

その一環として、この度、「女性シニアリーダー育成プログラム」を企画しました。多様で高度な知的創造と啓発の場を得ることは大きな価値があるものと確信しています。

早稲田の地でお会いしましょう。



早稲田大学ビジネス・
ファイナンス研究センター所長

菅野 寛 教授

プログラムコーディネーター



池上 重輔 教授

プログラムアドバイザー



長内 厚 教授



根本 直子 教授

当プログラムは、10年以内に会社の中核を担うシニアリーダーになりうる部長、上級課長クラスを対象とする、本格的なワークショップ型プログラムです。

当プログラムでは、自分の意見を持ち、それを戦わせる中で自分のポジションを確立し、自らの携わる経営チームに付加価値を付けることができる人材を育成することを目標とします。

また、年次が下の女性社員から見て憧れであり、将来に向けてのロールモデルになりえる女性シニアリーダーをさらに増やすことも意図しています。

単なる一方的な講義ではなく、経営幹部となるための心構えの形成や受講生同士のネットワーク構築を通じた学びを重視したのになっています。

皆さんの意欲的な参加を心から期待しています。



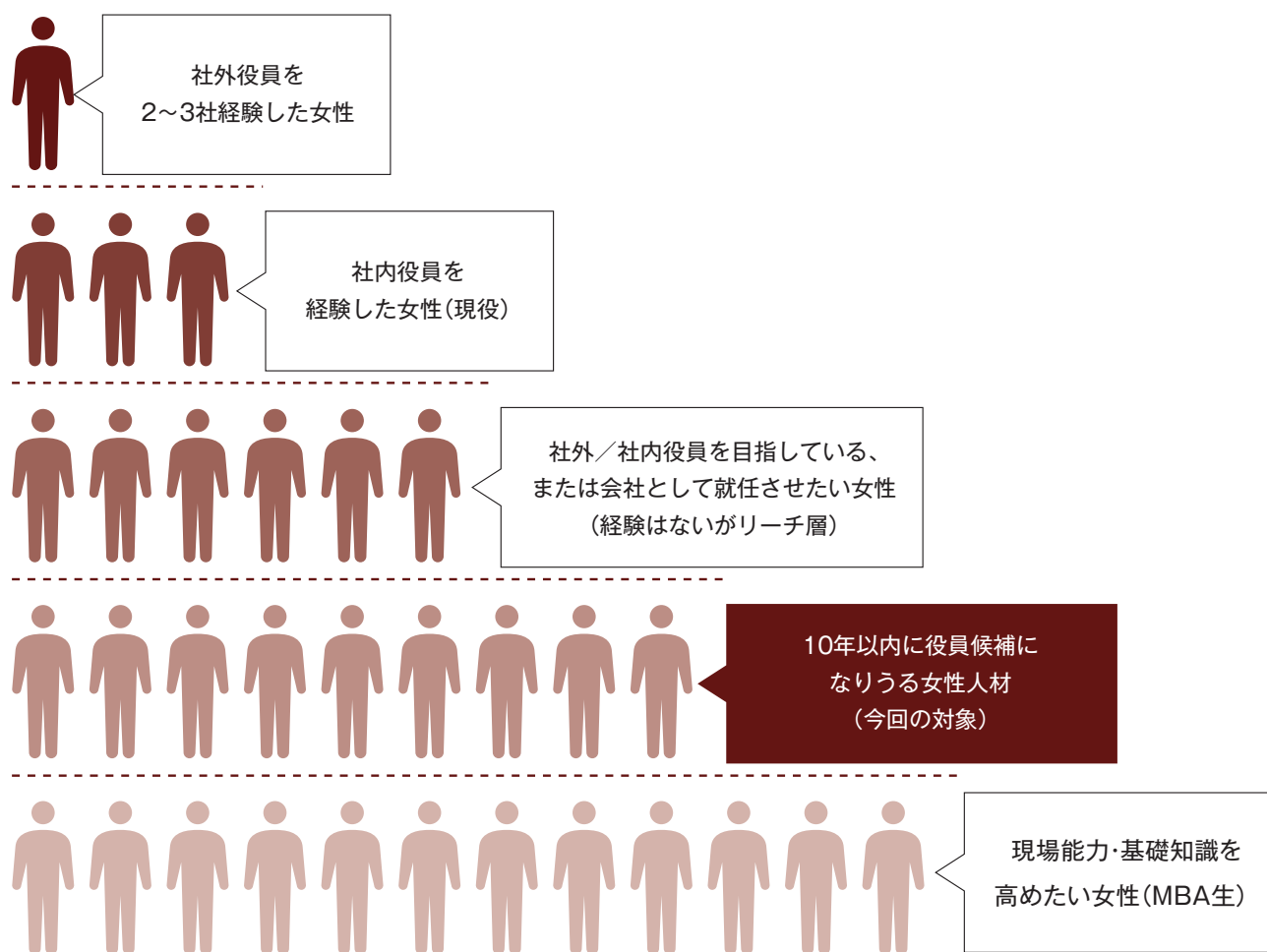
伊藤 友則 教授

本プログラムの主な対象

本プログラムの主な対象は10年以内に役員候補になり得る女性幹部です。

ここでいう女性とは、生まれたときの性としての女性に限定するものではありません。ジェンダーの多様性を前提に、性自認として女性であると自覚する、企業の女性幹部を広く対象とします。

すでに社外役員を2～3社経験した方や社内昇進で役員を経験した方、今後1～2年以内に社外／社内取締役になることを目指している方、会社として役員に就任させたい女性幹部(役員の経験はないが役員就任が確実な方)、および現場能力・基礎知識を高めたい女性(主にMBAの対象)の方のご参加を拒むわけではありません。しかし、主には今後の会社の成長を牽引する次の役員候補の裾野を広げることが目的にしています。



オープン講座割引制度

本プログラムに参加・修了された方への継続的な教育を推進するために、オープン講座割引制度が適用されます。

当プログラムに参加を認められた個人はプログラム期間中に、修了証を獲得した個人は獲得後1年以内にそれぞれ開始する、ビジネス・ファイナンス研究センター主催の以下有料のオープンプログラムを20%引き(消費税除く)で受講することができます。

該当プログラムは、以下の早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター主催のプログラムです。
トップマネジメント研修、EMBA Essence、エグゼクティブプログラム(シニア・マネジメント講座)

※注意事項

割引制度は本プログラム参加する企業にのみ有効であり、第三者に譲渡、賃貸などを認めないものとする。また、当該制度による割引は、直接、ビジネス・ファイナンス研究センター事務局(または指定するもの)に対象プログラムへの参加を申し込んだ場合のみ有効とする。

本プログラムの特色

THE CHARACTERISTIC OF PROGRAM

1 10年以内に会社の中核を担うシニアリーダーになりうる部長、上級課長クラスを対象とする、本格的なワークショップ型プログラム

- ・ 日常の業務を超えた視点から、役員候補として押さえるべき基本的な要素を凝縮して集中的に学ぶことが出来ます。
- ・ 早稲田大学ビジネススクールの教員を中核とした講師陣による、日本語での先進的なプログラムです。

2 自律性・付加価値をつけることのできる人材育成

うまくポジショニングするために自分に望まれているふるまい・行動をとることを考えるのではなく、自分の意見を持ち、それを戦わせる中で自分のポジションを確立し、自らの携わる経営チームに付加価値を付けることができる人材を育成することを目標としています。

3 個人アセスメントの実施

本人および部下3人にアンケートを実施し、個人のマネジメントスタイルを最初に把握します。また講座終了直前に部下に再度、アンケートを実施して変化を測定します。アセスメントを通じて、本研修を通じて向上すべき課題点を明確にした上で、カリキュラムを進めていきます。また、「ありたい姿に向けたアクションプラン」としてスモールグループディスカッションも行います。

4 多様な学びモードの提供

- ① 役員として必須な項目を網羅したカリキュラム構成となっています。
- ② それぞれの講義で、グループワークを実施するなどの形式で、双方向性を重視した内容となっています。
- ③ 現役で経営トップとして活躍している企業役員とのディスカッションのセッションを予定しています。
- ④ 最終日には、当プログラムの成果発表の機会として、個人のミッションステイトメントの発表会を実施します。
- ⑤ 修了後も、継続的なプログラム修了者が集う場を設ける予定です。修了者リストに基づき、年1回程度のネットワークイベントの実施を計画しています。



5 実務経験を持つ講師陣

- ・多様な分野のビジネス経験やコンサルティング経験を持ち、かつ、アカデミックな研究も行っている早稲田大学ビジネススクールの講師陣を中心に、各分野の専門家が講義を担当します。
- ・日本を代表する現役の経営者にお越しいただき、女性・男性を問わない女性役員への期待、役割などを語っていただくセッションを設けます。

6 実践的でタイムリーな内容

- ・各セッションには、経営者が押さえるべき基本的かつ広範な内容とともに、最近の経済情勢やグローバル競争を見据えたタイムリーな内容も豊富に盛り込まれ、実践的で即効性のあるプログラムとなっています。

7 本プログラムの受講によるブランド効果・ネットワーク構築

- ・当プログラムを受講・修了したことが社内外でブランド効果を持つ、そのようなプログラムを目指しています。当プログラムの受講は、今後の役員としての活躍に繋がるはずです。
- ・受講生間の広範で濃密なネットワークを構築することができます。プログラムにおける縦のつながりを構築する場も提供予定ですので、講師・受講者・修了者によるネットワークを獲得することが可能です。

受講生の声



ダイバーシティが戦略であること、多様性から誘発されるイノベーションが企業の変革と生き残るための強さになることがわかった。だからこそ長続きさせるために何をするかの議論が自社では不足していて、表面的なかけ声とありきたりな政策、KPIにしかになっていないことがわかった。



素晴らしい講義ばかりで、視野が広がりました。経営に関する知識から先輩女性リーダーとの交流など今後のキャリア形成のなかで、間違いなく活きてと思います。



他社でがんばっているみなさまの勇姿は、刺激的で、プログラム後もつながっていききたい貴重な社外人脈ができました。



多様なジャンルの講師・一流の講師・多様なキャリアを持つ女性の先輩方で多彩な講師陣でした。



自分自身に足りないものやこれから向かう方向性についてたくさん気づきを得ることができました。特に、経営者として求められること、という点で、これまでに得る機会がなかった内容が多数あり、このプログラムならではの価値を感じました。またここで得られた、受講生同士のつながりや、講師や事務局の皆様、豪華なゲスト陣とのつながりは、今後大切にして参りたいと思います。



見た目の良さに偏りがちで、経営トップが長期的な視点でやりきる覚悟がないと続かない。とくに業績が悪くなると、コスト削減、効率化からなおのことダイバーシティ戦略の優先順位が下がってしまう。しかも、効率化を図っても打ち手を間違った場合、余計に手間とコストがかかる。さらにその時点では、従業員のモチベーションは下がり、後戻りできない状態になる。それに気づいても後の祭り、優秀な人材がさらに離職していく。急がば回れではないが、ダイバーシティに覚悟を決めて取り組むべきだと思った。



概論

経営戦略

経営戦略論



池上 重輔／教授

早稲田大学ビジネススクール教授。ポストン・コンサルティング・グループ、MARS JAPAN、ソフトバンクECホールディング新規事業統括ディレクター、ニッセイキャピタルのチーフキャピタリスト等を歴任。異文化経営学会副会長。

マーケティング

マーケティング論



澁谷 寛／教授

早稲田大学ビジネススクール教授。日本消費者行動研究会会長、日本商業学会[JSMDジャーナル]編集長、日本マーケティング学会「マーケティングジャーナル」副編集長を歴任。

シニアリーダーシップ

シニアリーダーシップ論



杉浦 正和／教授

早稲田大学ビジネススクール教授。ペイン、マーサーの後、シティバンクにてリーダーシップ開発責任者、シュローダーにて人事部長等を歴任。人材育成学会常任理事。

特論

DX

デジタル時代の経営戦略



國領 二郎／教授

1982年東京大学経済学部卒。1992年ハーバード・ビジネス・スクール経営学博士。1993年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授、2000年同教授等を経て、総合政策学部長、慶應義塾常任理事を歴任。数多くのITビジネスの立ち上げに関与。現在は同大学総合政策学部教授。

組織論

組織行動と人材マネジメント



竹内 規彦／教授

早稲田大学ビジネススクール教授。京都大学経営管理大学院客員教授を兼任。経営行動科学学会会長、Asia Pacific Journal of Management副編集長等を歴任。

ビジネスモデル

新規事業のための ビジネスモデル創造



井上 達彦／教授

早稲田大学商学学術院教授。独立行政法人経済産業研究所(RIETI)フェカルティフェロー、ペンシルベニア大学ウォートンスクール・シニアフェローなどを歴任。

個人 アセスメント

個人アセスメント

シニアリーダーシップアセスメント



村瀬 俊朗／准教授

早稲田大学商学部准教授。2019年から英治出版オンラインで「チームで新しい発想は生まれるか」を連載中。『恐れのない組織』(エイミー・C・エドモンドソン著、野津智子訳、2021年、英治出版)の解説者。

個人アセスメント

ESG・SDGs、 個人アセスメント



根本 直子／教授

早稲田大学ビジネススクール教授。アジア開発銀行研究所エコノミスト。一橋大学博士(商学)日本銀行、S&Pグローバル、マネジングディレクターを経て現職。地域経済活性化支援機構経営委員、みずほ銀行社外取締役、GPIF経営委員。

個人アセスメント

個人アセスメント



瀧 真弓／講師

元株式会社ジェイコム湘南・神奈川 管理統括部長兼取締役(女性初)。2020年～2024年3月まで同社企業内キャリアアドバイザーとしてのべ1,500名以上にキャリア面談を実施。EAPメンタルヘルスカウンセリング協会会員。

財務

財務戦略論



西山 茂／教授

早稲田大学ビジネススクール教授。監査法人トーマツ、コンサルティング会社代表等を経て、現職。日本ハム株式会社社外監査役。株式会社東京エネクス社外取締役。公認会計士。

ファイナンス

ファイナンス



伊藤 友則／教授

早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター研究院教授。UBS証券会社投資銀行本部長、一橋大学大学院教授などを歴任。三井住友トラストグループ社外取締役。電源開発株式会社社外取締役。三井住友海上火災保険株式会社社外取締役。

新規事業

新規事業開発論



長谷川 博和／教授

早稲田大学ビジネススクール教授。日本ベンチャー学会副会長、ファミリービジネス学会理事。日本ニュービジネス協議会連合会副会長。

グローバル戦略 (M&A)

グローバル経営と日本



平野 正雄／教授

早稲田大学ビジネススクール教授。マッキンゼー・アンド・カンパニーディレクター・日本代表、カーライル日本共同代表を歴任。株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ、JSR株式会社などの社外取締役、政府資源エネルギー調査委員会など現任。

プレゼンテーション

プレゼンテーション研修



奈良 のりえ／講師

NHKキャスターを経てフリーアナウンサー。東京2020オリンピック聖火リレー、世界遺産・富岡製糸場コンサートなど司会は1800回を超える。NHK前橋放送局、BS11、FM群馬で活動。早稲田大学EMBA Essence修了。群馬交響楽団評議員。

組織変革

天神の杜に生きて



西高辻 信良／講師

太宰府天満宮 第39代宮司(現・最高顧問) 兼 宝満宮龍門神社 宮司。

新規事業

イノベーション論



尾崎 弘之／教授

早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター研究院教授(2025年4月より)。野村證券、ゴールドマン・サックス勤務後、複数スタートアップを立ち上げる。東京工科大学教授、神戸大学教授を経て現職。イノベーション関連の政府委員を務める。

経営人材育成

課題解決と実践



イネステーラー 笠 章子／教授

早稲田大学ビジネススクール教授(2025年4月就任予定)、芝浦工業大学非常勤講師、北鎌倉女子学園理事、異文化経営学会理事等、大塚ホールディングス(株)常務執行役員、シスレージャパン代表取締役社長等を歴任。

討議

経営者から求められる女性シニアリーダー



柏村 美生／講師

株式会社リクルートホールディングス執行役員 兼 株式会社リクルート執行役員 東京大学PHED(障害と高等教育に関するプラットフォーム)社外委員。



杉田 浩章／教授

早稲田大学ビジネススクール教授。ボストン・コンサルティング・グループ(BCG)元日本代表、現在はシニアアドバイザー。ユニ・チャーム社外取締役、Kaizen Platformの社外取締役。

ゲスト

女性役員の経験からの示唆



漆 紫穂子／講師

品川女子学院理事長。早稲田大学国語国文学専攻科、スポーツ科学研究科修了。行政改革推進会議構成員(内閣官房)。上場企業含む、数社の社外役員を務める。近著『女の子が幸せになる子育て』(だいわ文庫)。

ゲスト

女性のキャリアデザイン



坂東 眞理子／講師

昭和女子大学総長。東京大学卒業後、総理府入省。埼玉県副知事、プリズン総領事、内閣府男女共同参画局長等を歴任。2007年昭和女子大学学長、14年同大学理事長、16年から現職。300万部を超えるベストセラーの『女性の品格』他 著書50冊以上。

4期生募集要項

APPLICATION GUIDELINES

プログラムについての情報は、ビジネス・ファイナンス研究センター HP をご参照ください。
<https://www.waseda.jp/fcom/wbf/education/executive>



主 催	早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター
対 象	10年以内に会社の中核を担うシニアリーダーになりうる部長、上級課長クラス
出願資格	以下、1、2の両方の条件を満たす方 ①原則として4年制大学を卒業し、10年以上の実務経験がある女性 ②参加に強い意欲を持ち、70%以上のプログラムに参加が可能な方(教室参加を基本とします)
修了証	全体の70%の科目に合格した方には、早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター所長名の「女性シニアリーダー育成プログラム」修了証が発行されます。 ※本講座はノンディグリー研修であり、修士号などの学位は授与されません。
定 員	30名程度 ※同一業種からの受講者の偏りを避けるため、業種によってお断りする場合があります。
受講期間	2025年5月から4 ヶ月(原則として土曜日終日) 講義：全30セッション(1セッション2時間30分位) ※昼食付きプログラム
会 場	講義：早稲田大学 早稲田キャンパス26号館
受講料	1名 / 198万円(税抜価格180万円、消費税額18万円) 但し同一企業から複数参加の場合は割引を実施 2人目 / 158.4万円(税抜価格144万円、消費税額14.4万円) 3人目以降 / 132万円(税抜価格120万円、消費税額12万円)
審 査	書類審査および面接試験(面接試験は免除することがあります) ※企業・団体等からご推薦いただいてもお断りする場合があります。
申込期間	2025年1月6日～2025年4月14日(申込書類必着) ※申込書を受付次第、審査を実施します。定員に達した場合、申込み期間内であっても募集を打ち切る可能性があります。
申込方法	 QRコードもしくは以下リンク先よりお申し込みください。 https://forms.gle/61U7jUrc5ELWrVpH7 ※合格後にキャンセルされる場合、開講式の20日前から所定の手数料が発生します。 ● 20日～8日前まで：受講料の20% ● 7日～2日前まで：受講料の30% ● 前日：受講料の40% ● 開講式当日以降：受講料の全額
お問合せ	女性シニアリーダー育成プログラム事務局 (株)早稲田大学アカデミックソリューション 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-9-12 大隈スクエアビル2階 TEL：03-3208-7866 E-Mail：exe-edu@w-as.jp